



にこにこだより

うさぎぐみ・ひよこぐみ

令和3年11月15日
奈良市立都跡こども園

こども園の赤や黄色の木の葉が舞い落ち、冬の訪れを感じられる季節になりました。これから寒くなりますが、体調に気をつけて、元気に来てくださいね。

遊んだ後の片付けを、お家の人と一緒にする姿が見られるようになってきました。ご家庭で年末に、片付けや大掃除をされることと思います。子どもたちができる手伝いを頼んでみてください。終わった後は「ありがとう」「がんばったね」の言葉をかけてくださいね。

12月の予定

※表の(A)(B)は活動の時間です。

(A) 9:10~10:10

(B) 10:30~11:30

うさぎぐみ (3歳児) →	ひよこ組 2歳児の 日程から 2回参加 してくだ さい	ひよこ組 2歳児の 日程から 2回参加 してくだ さい	12/13(月)と ひよこ組 2歳児の 日程から 1回参加して ください	ひよこ組 2歳児の 日程から 2回参加 してくだ さい	
週2回の参加で2歳児と合同あり。					
ひよこぐみ (2歳児) → ①②③④⑤⑥ のうち、都合のつ く1回参加してく ださい。 [] の枠内で 1回の参加です。	①	11/30(火) A	12/7(火) A	12/14(火) A	1/18(火) A
	②	B	B	B	B
	③	12/2(木) A※	12/9(木) A	12/16(木) A	1/20(木) A
	④	B※	B	B	B
	⑤	12/3(金) A※	12/10(金) A	12/17(金) A	1/21(金) A
	⑥	B※	B	B	B
ひよこぐみ (1歳児) → 1 2 3 4のうち 都合のつく1回参加 してください。 [] の枠内で 1回の参加です。	1	12/1(水) A	12/15(水) A	1/17(月) A	
	2	B	B	B	
	3	12/6(月) A	12/20(月) A	1/19(水) A	
	4	B	B	B	
ひよこぐみ (0歳児) → ①②のうち、都合 のつく1回参加し てください。 [] の枠内で 1回の参加です。	①	12/8(水) A	12/22(水) A	1/26(水) A	
	②	B	B	B	

※印の日
は作品展
を見学し
ます。詳
細は裏面
をご覧ください。

★園行事の都合で実
施できない週や日
があります。

★コロナウイルス感
染症の状況によっ
ては、中止や変更に
なることがあります。
ホームページ
や正門前の掲示板
で知らせますので、
随時ご確認ください。
わからないことが
ありましたら、園
に問い合わせてく
ださい。

* 今月は、こんな遊びをします。

- 保育室→ままごとやブロック、積み木などをして遊びましょう。
- 園庭→砂場や遊具で遊びましょう。
- 歌を歌ったり、手遊びをしたりしましょう。
- 絵本などを見ましょう。
- 音楽にあわせて、踊ったり、体操したりしましょう。



お知らせとお願い

- ★登園前に検温し、発熱や鼻水、咳等の症状がある時は登園をお控えください。体調が良くなれば登園しましょう。また、同居家族が体調がすぐれない時も登園を控えてください。
- ★登園時に検温しますので職員に声をかけてください。登園時の体温をセルフチェックリストに記入し、回収箱に提出してください。
- ★登園したら、手を洗いましょう。手の消毒液も置いてあります。保護者の方はマスクの着用をお願いします。
- ★水筒をご持参ください。水分補給は感染症予防に有効ですので、心がけましょう。これからの時期も、引き続き水筒をご持参ください。
- ★1月の“にこにこだより”ができましたらホームページに掲載します。1月の予定やお知らせなどを載せますので、ご覧ください。正門前の掲示板にも掲示します。

園内作品展について

12月1日(水)～4日(土)に在園児の作品展があります。例年は「にこにこランド」の方も期間内に自由に見学していただいていたのですが、今年度もコロナウイルス感染症対策のため、自由には見学していただけませんので、ご了承ください。ただし、ひよこ組2歳児は右記のように、みんなで見学する時間をもちたいと思います。

ひよこ組(2歳児)の作品を園内に展示します。

12月2日(木)3日(金)のひよこ組2歳児とうさぎ組

は通常の活動時間中に見学を予定しています。この日は遊びの片づけがいつもより早くなります。(在園児の作品も見学します。コロナウイルス感染症の状況により変更や中止になることがあります。)



子育てのヒントに

(『非認知能力を育てる「しつけない」しつけのレシピ』大豆生田啓友・千夏書より)

子どものイヤイヤ期にかかわるポイントです。

- ① 共感する…スキンシップや気持ちを言葉にしてあげる。
- ② 待つ、見守る…気持ちが切り替わる時間をゆっくり待つ。
- ③ 選択肢や見通しを示す…「こうしてみる」など子どもが選択できる言葉がけ。
- ④ I(アイ)メッセージ…「ありがとう」など大人の気持ちを伝える。

子育てはマニュアル通りにいかないもので、あくまでも一例です。子どもの気持ちに寄り添い、尊重し、ふれあいや会話を大事にしましょう。子ども自身が自分で気持ちをコントロールすることにつながります。